

平成 29 年

所 信 表 明

松 伏 町

平成29年 所 信 表 明

平成29年6月議会定例会を招集申し上げたところ、議員の皆様にはご健勝にてご出席を賜り、ありがとうございます。

このたび、私は、先の町長選挙におきまして、多くの町民のご支持をいただき、松伏町長として町政を担わせていただくこととなり、その職責の重さに改めて身の引き締まる思いであります。町民の皆様のご期待に応えられるよう、4年間の町政運営に邁進してまいります。

私は、ふるさと松伏町に生まれ育ち、松伏町に63年間住んでまいりました。また、多くの皆様にご支援をいただき、6期21年間、町議会議員として働いてまいりました。この間に、松伏町も大きく変化し、純農村の社会から多くの方が転入された町へと変わってまいりました。また、日本全体の動向と同じく松伏町も少子高齢化が進んできております。これらの問題に立ち向かうことが私の責務であると認識しているところでございます。

今定例会は、私が町長として臨む初めての議会でございますので、町政を担うにあたり、私の所信を申し上げ、議員の皆様、町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

それでは、はじめに私の町政運営に関する基本理念について申し上げたいと存じます。

私は、まちづくりの基本理念として、「各世代が笑顔あふれるまちづくり」を掲げ、各種施策に取り組んでまいります。

乳幼児期、学童期、青年・壮年期、高齢期の世代ごとに絶え間ない事業展開を実施してまいります。併せて、政策別の目標も掲げ、各種事業に取り組んでまいります。

まず、世代ごとの事業目標について述べさせていただきます。乳幼児期については、女性のライフスタイルの多様化等により、日本の合計特殊出生率は、今年2月に厚生労働省より発表されました人口動態統計では、概数ではございますが、1.44と回復傾向にあります。松伏町においては、平成27年の数値でございますが、1.08と低迷しております。人口減少をストップさせ、転入者増を検討するうえでも、子育て支援の充実は必要不可欠であると考えております。乳幼児期に親子で触れ合うことは子育てにおいて、非常に重要なことであることと認識しております。そのためには、現在ある公園を改良し発達を促せる場所の提供に努めてまいります。

また、女性、家庭が希望するお子さんを産める環境を整えるため、待機児童ゼロの町を目指すとともに、学校給食費の減免制度などの経済的支援についても考えてまいりたいと思います。乳幼児期のお子さんを育てる家庭の笑顔あふれる町を目指します。

続きまして、学童期についてでございます。子ども達が成長する過程では、夢を持つことが重要であると認識しております。様々な夢がある中で、スポーツ選手になりたい、宇宙飛行士になりたい、医師になりたいなど、それぞれの夢に挑戦できる環境を整備していきたいと考えております。スポーツ面に関しては、1人でも練習できる環境の整備、また文化面においては、直接的なハード面の整備は当町においては難しい所がありますが、夢を持ち、実現するために本との出会いが出来る環境の整備を目指します。また、各年代において学習機会の提供などを計画し、夢

の持てる笑顔あふれる学童期を過ごせる町を目指します。

続きまして、青年・壮年期についてでございます。この世代は、地元で就労されている方、都内で就労されている方など様々な就労パターンがあると思います。また、それと同様に様々な休日の過ごし方をされていると思います。そのオフの場である休日の過ごし方において、スポーツ環境の充実、文化環境の充実は重要なものであると考えております。スポーツ、文化の両環境においてハード面及びソフト面の充実を図り、日常生活と異なる喜びの場の提供を検討します。また、近年はボランティア活動で休日を過ごされる方も増えております。町にとっても、ボランティア活動は安全安心のまちづくりには欠かせないと認識しているところでございます。ボランティア活動を行う皆様が集える場所、仲間を増やせる場所を提供し、土曜、日曜、休日が有意義に過ごせる町を目指します。

続きまして、高齢期についてでございます。この世代の皆様には、いつまでも元気であってほしいと願っております。家庭に引きこもること無く、趣味を楽しんでほしいと思います。また、趣味をお持ちでない方には、新たに趣味を持っていただきたいとも考えております。町営貸農園の計画と併せて趣味の発表の場の提供についても検討してまいります。また、介護予防についても力を注ぎます。ご自身の身の回りの生活がご自身で出来る能力を維持するためにも各種事業を展開し、生涯現役の社会づくりの町を目指します。

次に政策別の事業目標について述べさせていただきます。まず、農業についてでございます。町の主要産業であります稲作に関しましては、小規模の兼業農家の方は後継者の不在、農機具への投資の問題から、大規模に稲作を行っている大型農家

の方へ耕作を委ねるなど、農業に関する従事方法も大きく変化しております。そのようなニーズに応えるべく各種助成制度についても検討してまいります。また、採れたての地元産野菜を地元で消費できる地産地消を推進し、農家も消費者も笑顔あふれる町を目指します。

続きまして、商業についてでございます。建設を予定しております道の駅につきましては、引き続き調査研究してまいります。また、当町は日本で初めてカレー粉の製造に成功した方を輩出した町でもあることから、この特色を活かした道の駅の建設についても検討していきたいと考えております。併せて、町内の飲食店に協力を依頼し、カレーによる食品開発をしていただき、看板メニューとして販売し、スタンプラリー等の事業展開の実施についても調査研究してまいります。

続きまして、工業についてでございます。新たな人口増加の受け皿とともに雇用の場を創出する松伏・田島産業団地事業を埼玉県企業局と共同して進めてまいります。また、ここ数年、当町で事業展開していた大規模事業者の町外転出が見受けられます。現在は、商工会主催の法人会などもございますが、関係団体と連携を取りつつ各事業者の相談を受けられる体制づくりに努めてまいります。

続きまして、災害対策についてでございます。松伏町での一番大きな災害は、昭和22年9月に発生したカスリーン台風による利根川決壊での洪水被害かと思われれます。その後、松伏町が大きな災害に見舞われることはありませんでしたが、平成25年9月に竜巻災害、平成27年9月には台風18号に伴う大雨による水害が発生しました。また、近年自然災害による被害は、全国で多発しております。このような状況を受け、当町におきましても職員災害訓練の充実と非常食品等の備蓄を行

い、災害に強いまちづくりに努めてまいります。

続きまして、安全安心の分野についてでございます。暮らし満足度については、数値化して計ることが出来ません。しかし、この町に住んで良かった、この町に住み続けたいと思える町であることが大切であると考えます。安全安心な生活を送ることが心の安定に繋がるとの考えの下、町内の各地域における危険箇所の点検を各地域の協力をいただきながら実施し、随時改修を図り、安全安心のまちづくりに努めてまいります。

続きまして、教育分野についてでございます。全国統一テストにおける松伏町の学習水準につきましては、公表している市町村の中でさほど高くないことは議員各位もご存知のとおりであります。しかし、子ども達が学生時代を終え、社会に出る際に必要なものは、学習能力は元より、コミュニケーション能力と健康であると考えております。これらを兼ね備えることが出来る、育ちの環境が必要と認識しております。幼児教育に携わる方々と連携を図り、生まれてきた生命を大切にできる人間形成を育んでいただき、いじめ、引きこもりの無い学校社会を目指します。

学習する能力は、学習する機会に恵まれるかによっても左右されると言われております。社会福祉法の改正により、各社会福祉法人は社会貢献することを社会福祉充実計画で明記することとなりました。これらとタイアップし、福祉と教育を連携させ、子ども達の学習する機会の増加を図ってまいります。

また、町内小中学校の各教室へのエアコンの設置につきましては、夏場の気温上昇への対応や教育環境の充実の観点から必要なものであると認識しております。エネルギーコスト、ランニングコストを如何に確保するかの課題について調査研究してまいります。

続きまして、福祉分野についてでございます。現在の松伏町の高齢化率は、26%を超える数値で、約8,000人の高齢者の方々が町内に在住しています。現在、ご高齢の方々は、戦後の日本を支えてこられた方々です。財源には、限りがあるものの、福祉分野に関する予算が使われることは当然であるとの考えの下、各種高齢者施策の実施及び地域包括支援センターの充実を図り、しあわせの「幸齢化社会」、光り輝く「光齢化社会」と実感いただけるまちづくりに努めてまいります。

最後になりますが、未来を目指し、楽しいまちを作るための事業についてでございます。若者が中心となる「楽しいまちづくり検討委員会」を創設するとともに、「松伏町を楽しくする試みをする方々への補助金制度」を創設し、暮らしていることが楽しい松伏町を目指します。

また、近年自治会問題がクローズアップされております。住民同士の横の繋がりが希薄になりつつあります。行政に出来ない部分の安全安心の確保は共助の精神を持った自治会にあると認識しております。自主防災訓練の充実などを図り、自治会や連合会の必要性についての意識の向上を目指します。

そして、松伏町に暮らしている住民の皆様、企業、団体など全ての方々が力を出し合い、行政とともにまちづくりをしていただく、住民参加のまちづくりを目指します。

以上、町政運営に関する所信の一端を申し述べさせていただきました。松伏町は越谷市、吉川市、春日部市、野田市に囲まれた小さな町です。面積も県内8番目に小さい町であります。しかし、小さな町であるからこそ出来ることを探し、小さくとも輝ける町を目指します。

今後とも町民の目線に立ち、町民の声を聞き、ニーズを的確に捉え、町政運営に
取組み、参加、協働、情報共有の自治の基本原則を守り、町政運営を進めていく所
存であります。

議員の皆様、住民の皆様には限りないご助言とご指導、そしてご協力を賜ります
よう重ねてお願い申し上げます。

ありがとうございました。